

上伊那音楽教育研究会

ハーモニー

第4号

令和6年11月15日

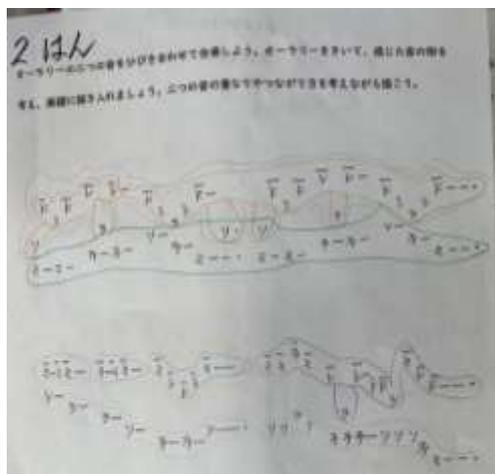
文責 中谷梨恵

教育課程協議会

先月8日に教育課程協議会が行われました。箕輪西小学校の永井先生による4年生のリコーダーの授業を公開していただきました。

本時では「グループでイメージしたオーラリーに近づくように演奏を工夫しよう」を学習問題とし、グループごとに合わせるポイントを確認しながら追究を進めました。グループでの追究の場面では、動画を撮影し自分たちの演奏を聴きながらアドバイスをしあうチームや、自分たちで拍をとりながら演奏するチームがありました。私の見させてもらっていたグループでは、高い音がうまく吹けない仲間にサミングの仕方や、息を吹きこむ強さをアドバイスし、うまく音を鳴らせたときにみんなで拍手をしながら喜ぶ姿がありました。グループみんなで支え合いながら、良い演奏をつくってほしいというグループ学習の良さを感じることができました。

わかりやすくまとめられた掲示、児童が自分に合った練習方法を選べる環境、ICT機器を使った振り返りなど、学ばせていただくことがたくさんありました。授業公開をしていただいた永井先生、4年生の皆さんありがとうございました。



また、午後の研究協議会では「個別最適な学びと協働的な学習の一体化の充実について」を題に、専門主事・石田雄太先生による実践例を交えたお話をいただきました。その後、小学校・中学校に分かれグループ演習を行いました。教科書の中から単元を選び、単元の中でどのように個別最適な場面を組み込むか、各グループで授業を組み立てました。

グループ演習の中で、普段の授業での悩みや、使っている音源や映像のことなど、実践の内容やアドバイスなどを聞くことができました。普段、一人で教科運営をしている中で悩みまではいかないけれど、モヤモヤしていたり、もっとこうなったらいいなあと思っていたりしたことを相談しあえた、良い時間でした。

充実した一日となりました。会場準備、授業公開をしていただいた箕輪西小学校の先生方、永井先生、ありがとうございました。